令和７年度

事 業 報 告 書

自　令和　７年　４月　１日

至　令和　８年　３月３１日

社会福祉法人日高市社会福祉協議会

目　次

令和７年度事業報告

１　社会福祉事業区分　・・・・・・・・・・・・・・・　１

（１）地域福祉事業拠点区分
　①　法人運営事業
　②　地域福祉推進事業
　③　ボランティアセンター活動事業
　④　共同募金配分金事業
　⑤　生活福祉資金貸付事業
　⑥　福祉資金貸付事業
　⑦　福祉サービス利用援助事業
　⑧　障がい者相談支援事業
（２）ヘルパーステーション拠点区分
　①　訪問介護等事業
　②　障がい福祉サービス事業
（３）総合福祉センター管理・経営事業拠点区分
（４）こまのさと作業所拠点区分
（５）ファミリーサポートセンター拠点区分

２　公益事業区分　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３３

（１）地域包括支援センター拠点区分
（２）障がい者就労支援センター拠点区分
（３）生活困窮者自立支援事業拠点区分
　①　生活困窮者自立相談支援事業
　②　生活困窮者就労準備支援事業
　③　生活困窮者家計改善支援事業
（４）生活支援体制整備事業拠点区分

令和７年度

事業報告

社会福祉事業区分

社会福祉事業

Ⅰ　地域福祉事業

1　法人運営事業	担　当	企画総務課

令和７年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題
（１）法人の組織運営 法人運営のルールを定めた定款・諸規程において、改正を要するものを中心に整理を進めます。 ①　理事会の開催 ②　評議員会の開催 法人の業務に関する重要事項を決定します。 ③　監査の実施 業務執行の状況及び法人の財政の状況を監査します。 ④　三役会議の開催 法人の重要事項の事前協議等を行います。 ⑤　財源確保の促進 ア　区・自治会、事業所等の協力を得て会員を募集します。 イ　寄付金の受入れを行います。 ウ　不要な入れ歯や使われないアクセサリーの回収を行います。	（１）法人の組織運営 法人の使命・理念にもとづき、事業を適正かつ効果的に実施するため、次の業務を行いました。 ①　理事会の開催 ・第１回理事会（理事定数11人、出席理事８人、監事１人） 令和７年５月29日（木）　総合福祉センター 議案第１号　令和７年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会資金収支補正予算（第１号）の同意について 議案第２号　社会福祉法人日高市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について 議案第３号　社会福祉法人日高市社会福祉協議会選任・解任委員会の開催について 議案第４号　令和６年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会事業報告及び資金収支決算の承認について 議案第５号　令和７年度第１回評議員会（定時評議員会）の開催について ・第２回理事会（理事定数11人、出席理事９人、監事２人） 令和７年６月19日（木）　総合福祉センター 議案第６号　社会福祉法人日高市社会福祉協議会副会長、常務理事の選定について ・第３回理事会（理事定数11人、出席理事11人、監事１人） 令和７年８月25日（月）　総合福祉センター 議案第７号　令和７年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会資金収支補正予算（第１号）の同意について 議案第８号　社会福祉法人日高市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規則の一部改正について

	議案第９号　社会福祉法人日高市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について 議案第10号　社会福祉法人日高市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について 議案第11号　社会福祉法人日高市社会福祉協議会選任・解任委員会の開催について 議案第12号　令和７年度第２回評議員会の開催について 報告第１号　会長及び常務理事の職務執行状況について ・第４回理事会（理事定数11人、出席理事９人、監事１人） 令和８年１月19日（月）　総合福祉センター 議案第13号　令和７年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会資金収支補正予算（第２号）の同意について 議案第14号　社会福祉法人日高市社会福祉協議会職員の給与に関する規程の一部改正について 議案第15号　令和７年度第３回評議員会の開催について 報告第２号　会長及び常務理事の職務執行状況について ・第５回理事会（理事定数11人、出席理事９人、監事１人） 令和８年３月６日（金）　総合福祉センター 議案第16号　令和７年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会資金収支補正予算（第３号）の同意について 議案第17号　社会福祉法人日高市社会福祉協議会職員の給与に関する規程の一部改正について 議案第18号　社会福祉法人日高市社会福祉協議会こまのさと作業所運営規程の一部改正について 議案第19号　役員等賠償責任保険契約について 議案第20号　令和８年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会事業計画及び資金収支予算の同意について 議案第21号　令和７年度第４回評議員会の開催について

	② 評議員会の開催 ・第１回定時評議員会（評議員定数25人、出席評議員18人、監事２人） 令和７年６月19日（木）　総合福祉センター 議案第１号　社会福祉法人日高市社会福祉協議会理事及び監事の選任について 議案第２号　令和６年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会事業報告及び資金収支決算の承認について ・第２回評議員会（評議員定数25人、出席評議員17人） 令和７年９月17日（水）　総合福祉センター 議案第３号　令和７年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会資金収支補正予算（第１号）の承認について 議案第４号　社会福祉法人日高市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規則の一部改正について ・第３回評議員会（評議員定数25人、出席評議員19人） 令和８年１月29日（木）　総合福祉センター 議案第５号　令和７年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会資金収支補正予算（第２号）の承認について 議案第６号　社会福祉法人日高市社会福祉協議会職員の給与に関する規程の一部改正について ・第４回評議員会（評議員定数25人、出席評議員14人） 令和８年３月25日（水）　総合福祉センター 議案第７号　令和７年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会資金収支補正予算（第３号）の承認について 議案第８号　社会福祉法人日高市社会福祉協議会職員の給与に関する規程の一部改正について 議案第９号　社会福祉法人日高市社会福祉協議会こまのさと作業所運営規程の一部改正について 議案第10号　社会福祉法人日高市社会福祉協議会事業計画及び資金収支予算の承認について

	③　監査の実施 ・令和６年度事業及び決算に関する監査 令和７年５月14日(水)　総合福祉センター ④　三役会議の開催 ・第１回　令和７年４月21日(月)　総合福祉センター 協議事項　①第44回福祉スポーツ大会実施要領（案）について 報告事項　①各課・センター報告（以下毎月） ②寄付の受入状況について(以下毎月) ・第２回　令和７年５月22日(木)　総合福祉センター 協議事項　①第１回理事会議案について 報告事項　①第44回福祉スポーツ大会プログラム案について ・第３回　令和７年６月19日(木)　総合福祉センター 協議事項　なし 報告事項　①第44回福祉スポーツ大会実績報告 ・第４回　令和７年７月11日(金)　総合福祉センター 協議事項　①第39回日高市社会福祉大会開催要綱（案）について ②第18回あいあいまつり開催要領（案）について ③正規職員（令和８年４月１日採用）募集要項（案）について ・第５回　令和７年８月18日(月)　総合福祉センター 協議事項　①第３回理事会議案について ・第６回　令和７年９月25日(木)　総合福祉センター 協議事項　①第39回日高市社会福祉大会開催並びに表彰者の選定について ②第18回あいあいまつりについて ・第７回　令和７年10月23日(木)　総合福祉センター 協議事項　①第39回日高市社会福祉大会プログラム（案）について 報告事項　①第18回あいあいまつり実績報告 ・第８回　令和７年11月19日(水)　総合福祉センター 協議事項　①職員採用試験について ・第９回　令和７年12月19日(金)　総合福祉センター 協議事項　①第４回理事会議案について ・第10回　令和８年１月19日(月)　総合福祉センター

協議事項　なし

・第11回　令和８年２月26日(木)　総合福祉センター

協議事項　①こまのさと作業所非常災害対策計画（案）について

②日高市物価高騰対応生活者支援事業地域商品券発行に伴う対応について

③令和７年度第５回理事会議案の概要について

・第12回　令和８年３月17日(火)　総合福祉センター

協議事項　①令和７年度第４回評議員会議案について

⑤　財源確保の促進

ア　社協会員の募集

会員加入増強期間(７月～８月)を中心に、住民への啓発を促進するとともに、福祉委員(区長)等の協力を得て啓発に努めました。

区　分（年額）	令和７年度実績額	対前年比
一般会員(500円)	3,269,500円	△263,000円
賛助会員(2,000円)	242,000円	△6,000円
特別会員(10,000円)	450,000円	10,000円
合　計	3,961,500円	△259,000円

イ　寄付金の受入れ

地域住民、事業所、団体等からお寄せいただいた寄付金は、合計49件、総額1,145,573円でした。

ウ　不要入れ歯とアクセサリーの回収

日高市役所及び総合福祉センター高麗の郷の回収ボックスにお寄せいただいた不要入れ歯とアクセサリーを回収し、令和８年２月27日（金）に業者へお渡ししました。

（２）総務・経理業務

①　会計処理の適正化

予算実績管理支援

②　総務業務の適正化

備品管理、車両管理、PC管理、情報管理

（２）総務・経理業務

①　会計処理の適正化

各課・センターに配置されている出納責任者からの伝票作成依頼が適正な勘定科目、金額であるかの確認や証拠書類が揃っているかを確認し、予算執行状況を伝達することで適正な会計処理に努めました。また、法人全体で按分して支払う経費を法人全体の予算を勘案しながら計画的に支出することがで

	きました。 ② 総務業務の適正化 備品管理やPC管理については、管理簿への記入や盗難防止に努め、車両の管理については、保険加入や自動車税の手続きなど適正に実施することが出来ました。
（３）人事・給与業務 ① 研修事業の実施（適宜） ② 人事・給与システムの運用 ③ 能力評価・業績評価の実施 ④ 福利厚生事業 （予防接種費用の独自補助、職場健診） ⑤ 職場の安全衛生 （産業医、安全衛生管理業務）	（３）人事・給与業務 ① 研修事業の実施（適宜） ア ハラスメント研修 令和７年12月５日（金）、令和８年１月14日（水）（※両日とも内容は同じ）総合福祉センター 社会保険労務士に講師となっていただき、全職員を対象にハラスメントについてご講義いただきました。 イ 課長研修 令和７年８月１日（金）、令和８年２月６日（金）総合福祉センター 社会保険労務士に講師となっていただき、２日間にわたって課長を対象に労働時間管理と割増賃金の基本についてご講義いただきました。 ② 人事・給与システムの運用 給与システムを運用していくために、社会保険労務士と顧問契約し、就業規則の改正や職員の給与に関する規程を改定しました。 ③ 能力評価・業績評価の実施 能力評価は実施しましたが、業績評価は実施できませんでした。 ④ 福利厚生事業 職場健診は、協会けんぽの補助を利用し、10月～11月の期間内において計画的に受診することが出来ました。 インフルエンザ及び新型コロナウイルスの予防接種は任意接種とし、接種した職員に対して両方併せて5,000円を上限に補助しました。 ⑤ 職場の安全衛生（産業医、安全衛生管理業務） 産業医、安全衛生管理者の選任には至りませんでした。

（４）地域支援業務 ①　後援名義使用許可対応、共催事業の支援	（４）地域支援業務 ①　後援名義使用許可対応、共催事業の支援 令和７年度後援名義許可件数　12 件 令和７年度共催事業件数　　1 件 【成果と課題】 年度初めで正規職員１人が欠員していましたが、年度途中で正規職員１人が退職したため、欠員が２人となり、９月から派遣会社より職員を１人派遣していただきました。 そのような中、社協会員募集や理事会・評議員会の開催、会計処理、福利厚生事業等、法人運営をしていく上で根幹となる部分については実施することが出来ました。 また、７年度は、ハラスメント研修に加え課長研修の開催もすることが出来ました。 課題としては、適正な人員配置のもとで職場の安全衛生管理や職員の労働時間を適正に管理していくことです。

2　地域福祉推進事業	担　当	地域福祉課・相談支援課

令和７年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題

（１）包括的な支援体制の基盤づくり

重層的支援体制の構築に向け、次の取組を進めます。

①　重層的支援体制構築に向けた事前準備

②　地域福祉推進組織の体制に関する検討

（２）日高市地域支え合い事業

①　地域おたすけ隊運営支援

ア　コーディネーター会議の開催（年４回）

イ　運行管理委任自動車の整備

ウ　付き添い移送支援利用者への補助【新規】

エ　協力会員養成講座の開催

②　地域支え合い協力店に関する事務

③　地域支え合いの財源確保の強化

自動販売機設置等の促進

（１）包括的な支援体制の基盤づくり

①　重層的支援体制構築に向けた事前準備

地域福祉計画で市が整備を進める重層的支援体制の構築に向けた協議を行いました。

②　地域福祉推進組織の体制に関する検討

地域福祉を推進する組織の在り方を検討するため、地域で行われる会議や協議体に参加し、地域課題を把握するとともに、地域ごとの問題を解決するための組織体制に関する検討を行いました。

（２）日高市地域支え合い事業

①　地域おたすけ隊運営支援

【運営委託先】（委託による事業開始年月日）

①こま武蔵台福祉ネット（平成23年１月31日）

②日高団地自治会　　（平成23年１月31日）

③たかね地域おたすけ隊（平成25年10月１日）

④原宿地域おたすけ隊　（平成29年10月１日）

＊原宿地域おたすけ隊との協定締結による連携団体

・鹿山上地域おたすけ隊（令和６年１月１日）

⑤高麗地域おたすけ隊　（令和４年１月４日）

【活動実績】　　令和８年３月31日

区　分	令和７年度	対前年比
利用件数	4,718 件	1,203 件
利用時間数	3780.5 時間	△543.5 時間
※運転付添時間	2708.5 時間	△284 時間
利用者登録数	911 人	△6 人
ボランティア数	163 人	△5 人
地域支え合い協力店舗	166 店舗	29 店舗

ア　コーディネーター会議の開催（年４回）

・第１回　令和７年４月10日(木)

・第２回　令和７年７月10日(木)

・第３回　令和７年10月９日(木)

・第４回　令和８年１月８日(木)

イ　運行管理委任自動車の整備

地域おたすけ隊による運転を伴う付添活動を支援するため、委託団体との間で社協所有車輌（３台）

	の運行管理業務を委任し、活動に使用する車輌を提供することで活動を支援しました。 また、団体から車両の寄贈を受け、地域支え合い活動に資する車両の確保に努めました。 （寄贈団体）生命保険協会埼玉県協会 （寄贈車両）福祉巡回車１台 （贈呈式）令和８年１月 28 日 **ウ　付き添い移送支援利用者への補助【新規】** ・日高市地域支え合い事業における付き添い移送支援活動補助金の交付 （原資）日高市交通事業者等支援事業補助金 （交付先）地域おたすけ隊運営団体５団体 （交付総額）377,950 円 ・日高市地域支え合い事業における付き添い移送支援活動燃料費の交付 （原資）地域歳末たすけあい （交付先）地域おたすけ隊運営団体２団体 （交付総額）223,200 円 **エ　協力会員養成講座の開催** 協力会員養成講座の開催には至りませんでした。 **②　地域支え合い協力店に関する事務** **ア　登録管理** 地域商品券を発行、管理し、利用できる協力店の拡大を図りました。 また、市が発行する日高市物価高騰対応生活者支援事業「地域商品券」の精算等の対応に備えるため、関連する準備業務を実施しました（市受託事業） **イ　地域商品券精算処理** **年間換金取扱金額　7,800,200 円（前年比 272,000 円増）** **③　地域支え合いの財源確保の強化** 自動販売機（１台）を設置し、財源の確保に努めました。
（３）地域支え合い活動への助成 ①　福祉のまちづくり活動助成金、連絡会設置補助金の交付 ②　児童遊具の撤去及び新設にあたっての補助金の交付	（３）地域支え合い活動への助成 ①　福祉のまちづくり活動助成金、連絡会設置補助金の交付 ア　連絡会設置補助金 身近な地域における組織的なたすけあい活動を促進するため、こま武蔵台福祉のまちづくり連絡会

の運営を支援しました。

イ　福祉のまちづくり活動助成金

区・自治会を範囲とする地域福祉活動の振興等を目的に助成金を交付しました。

【助成実績一覧】

内訳	令和７年度	前年比
助成決定件数	46 件	1 件
助成金交付総額	622,000 円	△133,600 円
特別助成件数(円)	0 件(0 円)	0 件 0 円)

②　児童遊具の撤去及び新設にあたっての支援【新規】

令和５年度に制定した「児童遊具に関する基本方針」に沿い、児童遊具の撤去及び新設にあたっての補助を行いました。

ア　新設にあたっての支援

児童遊具設置補助金交付要綱を制定し、撤去工事が完了した地区からの要望により、補助金を交付しました。

・交付決定先（決定順）

①新宿区（高麗川）、②鹿山上区、③向郷区

（４）市民生活支援事業（地域における公益的な取組）

市民が抱える福祉課題の解決や改善を図るため、社会福祉法人の地域における公益的な取組として福祉サービスを積極的に提供します。

①　福祉用具の貸出

②　福祉自動車の貸出

③　印刷機の貸出

（４）市民生活支援事業（地域における公益的な取組）

①　福祉用具の貸出

内訳	令和７年度	前年比
福祉用具の貸出	43 件	△９件

②　福祉自動車等の貸出

内訳	令和７年度	前年比
福祉自動車の貸出	42 件	△12 件
その他車両の貸出	11 件	△１件

③　印刷機の貸出（再掲）

市内のボランティア団体等に印刷機の貸出を 28 件行いました。

（５）法人としての社会貢献活動、新たなニーズへの対応

①　彩の国あんしんセーフティネット事業への協力

制度の狭間にある生活問題へ対応するため、社会貢献活動費を拠出して取組に協力します。

（５）法人としての社会貢献活動、新たなニーズへの対応

①　彩の国あんしんセーフティネット事業への協力

生活困窮者自立相談支援事業の受託と併せ、生活困窮者支援体制の充実を図るため、社会貢献活動費を拠出し、現物給付等の支援を実施しました。

（その他の追加取組等）

【支援件数】

支援の区分・件数		給付金額等
光熱水費	1件	8,420円
食費	1件	1,685円
家賃	2件	103,160円
医療、薬	1件	26,660円
手数料	2件	1,100円
合　計		141,025円

（その他の追加取組等）

① 自閉症・発達障がい啓発事業への協賛

（総合福祉センターライトアップの実施）

・実施日　令和7年4月2日（水）

② サロン活動の運営支援（下記登録一覧のとおり）

【サロン活動登録一覧】

	団　体　名（登録順）	主な対象	実施場所
1	こま武蔵台福祉ネット	高齢者	武蔵台小中学校地域交流広場
2	こま武蔵台福祉ネット	高齢者	武蔵台ふれあいサロン
3	チャットルーム	精神障がい	総合福祉センター
4	ふれあいサービスさくら会	高齢者	高萩団地自治会館
5	ひまわり会	高齢者	鹿山上区公会堂
6	おしゃべりサロン協力会	高齢者	日高団地自治会館
7	快サークルコロネット	発達障がい	市内各所
8	ちょこっとランチ・トマト会	高齢者	総合福祉センター
9	ふれあい会	高齢者	日高団地ふれあい館
10	ニコニコひろば	子育て支援	横手台自治会館
11	高萩団地なかよしサロン協力会	高齢者	高萩団地自治会館
12	宮前サロンいこい	高齢者	宮前公会堂
13	台交流サロン	高齢者	台自治会館
14	たかね地区サロン協力会	複合	たかねサロン
15	ひつじの会	高齢者	総合福祉センター
16	サロンオリーブ	複合	カフェバロン
17	天使ママサロン　桜のバトン	母親支援	オンライン
18	日高ママサロン	子ども	総合福祉センター
19	梅原元組交流サロン	高齢者	梅原区公会堂
20	横手サロン	高齢者	横手区公会堂
21	四本木陽だまりの会	高齢者	四本木公会堂
22	音サロン	複合	横手区公会堂
23	健康マージャン教室「オアシス」	高齢者	武蔵台ふれあいサロン

3　ボランティアセンター活動事業	担当	地域福祉課

令和７年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題

（１）ボランティア・市民活動支援センター運営事業

①　ボランティアコーディネーターの設置

②　ボランティア登録・保険加入事務

登録によりボランティアへ必要な情報を提供するとともに、活動への安心感を高めるため保険加入手続を行います。

③　ボランティア活動支援

生活支援に関するテーマに対応するため、次のボランティア活動の支援に取り組みます。

ア　運転ボランティア活動支援

イ　保育ボランティア活動支援

ウ　点字用具の整備

エ　声のおたより活動の支援

オ　ガイドヘルプボランティア活動支援

カ　傾聴ボランティア活動支援

キ　地域食堂（子ども食堂）支援

ク　ボランティア相談会の支援

④　機材・レクリエーション用具の貸出

（１）ボランティア・市民活動支援センター運営事業

①　ボランティアコーディネーターの設置

②　ボランティア登録・保険加入支援

【ボランティア登録状況】

区　分		令和７年度	前年比
個人	一　般	33 人	２人
	災　害	10 人	△５人
団体	登録数	117 団体	９団体
	人　数	2,428 人	△51 人

③　ボランティア活動支援

ア　運転ボランティア活動支援

運転ボランティア活動はありませんでした。

イ　保育ボランティア活動支援

保育サポーターグループ「ひだまりっ子」の活動紹介をイベント等で周知、情報提供しました。

ウ・エ・オ

点字用具の整備及び声のおたより活動、ガイドヘルプボランティア派遣等を通じて、視覚障がいのある人への支援を促進しました。

カ　傾聴ボランティア活動支援

【傾聴ボランティア活動実績】

活動区分		令和７年度	前年比
施設傾聴訪問	活動件数（延べ）	39 件	36 件
	活動者数（延べ）	81 人	67 人
個人宅傾聴活動件数（延べ）		17 件	△16 件
個人宅傾聴対象者数		３人	０人
個人宅傾聴活動者数		３人	０人

キ　地域食堂（子ども食堂）支援

【地域食堂(子ども食堂)実施団体一覧】

	団体名	実施場所
1	ぬくもりげんき食堂	たかねサロン
2	やまなみ食堂	武蔵台公民館
3	地域食堂ちゃぶ台	高麗公民館ほか
4	きみちゃんち	カフェビスケット
5	地域食堂めぐみキッチン	武蔵台キリスト福音教会

地域食堂への支援等に関する次の援助を実施しました。

・立ち上げの支援や運営上の相談対応等

・活動保険の保険料負担

・助成金や食料支援に関する情報提供及び配付等

ク　ボランティア相談会の支援

ボランティアサポーターズクラブによるボランティア相談会の実施を支援しました。

④　機材・レクリエーション用具の貸出

ボランティア団体等が研修等を実施する際に必要な機材やレク用品の貸出を行いました。

（２）ボランティア体験学習事業

ボランティア活動への参加を促進するとともに、講座等の実施により人材を育成します。※一部埼玉県社会福祉協議会補助

①　彩の国ボランティア体験プログラムの実施

②　ボランティア講座の開催

ボランティア団体と協力してボランティア講座を開催し、その育成に努めます。

ア　傾聴とこころのサポートボランティア養成講座

イ　手話奉仕員養成講習会基礎課程（市受託事業）

ウ　手話ミニ講座、みみ（手話）カフェの開催支援

（２）ボランティア体験学習事業

①　彩の国ボランティア体験プログラムの実施

ボランティア活動への参加のきっかけとするため、夏休みの期間にボランティア体験の機会を提供しました。

【彩の国ボランティア体験プログラムの実績】

区分	令和７年度	前年比
体験プログラム数	36 メニュー	0
活動参加者数（延べ人数）	61 人	△81 人
※うち学生参加者数	55 人	△67 人

②　ボランティア講座の開催

ア　傾聴とこころのサポートボランティア養成講座

・開催期間　令和７年10月28日（火）、30日（木）、11月７日（金）、19日（水）※全４回

・会　　場　総合福祉センター

・講　　師　特定非営利法人埼玉カウンセリングセンター　髙倉恵子氏

・ｱｼｽﾀﾝﾄ　傾聴ボランティア「うさぎ」

・受 講 者　11人

イ　手話奉仕員養成講習会基礎課程（市受託事業）

・開催期間　令和７年９月２日（火）～令和８年２月24日（火）※全23回

・会　　場　総合福祉センター

・講　　師　森田登氏、金川直美氏

・ｱｼｽﾀﾝﾄ　日高市手話サークル「あくしゅ」

・受 講 者　12人

ウ　手話ミニ講座、みみ（手話）カフェの開催支援

手話の普及を通じ、障がい者理解の推進を図ることを目的として、手話に関する取組の開催を支援しました。

（開催状況）

・実施日　令和８年３月１日(日)
・会　場　総合福祉センター
・主　催　手話カフェ実行委員会
・人　数　112人(参加者92人、スタッフ20人)

（３）福祉教育の推進

①　福祉教育プログラムの支援

障がい平等研修(ＤＥＴ)などを通じて新たな障がい理解プログラムづくりに向けた検討を行います。

②　家族介護教室（市受託事業）

介護について学習できる機会を企画、実施します。

（その他）

①　社会福祉士実習生の受入

（３）福祉教育の推進

①　福祉教育プログラムの支援

障害平等研修（ＤＥＴ）を活用した障がい理解プログラムの普及を図るため、試行的な取組を進めました。

また、学校における福祉教育の取組を支援するため、次表のとおりプログラムの立案の支援に努めました。

【福祉教育プログラム支援の実績】　※表中の人数は延べ人数

学校名(学年)	区分	令和７年度	前年比
高麗小中	協力者数	4人	3人
	参加児童数	116人	△64人
	時間数	315分	90分
高麗川小	協力者数	14人	ー人
	参加児童数	372人	6人
	時間数	315分	ー分
高萩小	協力者数	14人	3人
	参加児童数	234人	△66人
	時間数	225分	ー分
高萩北小	協力者数	25人	△4人
	参加児童数	522人	162人
	時間数	630分	135分
高根小中	協力者数	11人	5人
	参加児童数	108人	ー
	時間数	315分	ー
武蔵台小中	協力者数	6人	3人
	参加児童数	112人	22人
	時間数	315分	90分
合　計	協力者数	74人	ー人
	参加児童数	1,464人	60人
	時間数	2,115分	315分

②　家族介護教室（市受託事業）

NPO 法人及び地域包括支援センターの協力により介護に関する学習機会を提供しました。

	【内容及び実績】 (講義)地域包括支援センターと介護保険制度について ・期　日　①令和７年７月２日(水) ②令和７年７月16日(水) ・参加者　①５人、②６人 ・講　師　①高萩地域包括支援センター ②高麗地域包括支援センター ・会　場　①高萩北公民館 ②高麗公民館 (実習)介護についての心がまえと介助の基本動作について ・期　日　①令和７年７月９日(水) ②令和７年７月23日(水) ・参加者　①８人、②８人 ・講　師　①②友結会　ふるさとけあ ・会　場　①高萩北公民館 ②高麗公民館 (その他) ①　社会福祉士実習生の受入 社会福祉の人材の確保を図るため、社会福祉実習生の受け入れをしました。 (大学名・人数) ・文京学院大学人間学部　１人 ・大原医療秘書福祉保育専門学校 社会福祉士コース　１人
(４)シニアの社会参加促進・ボランティア活動支援事業 ①　ボランティアサポーターズクラブの運営支援 ②　日高ボランティアネットの運営 ③　ボランティア啓発イベントの開催支援	(４)シニアの社会参加促進・ボランティア活動支援事業 ①　ボランティアサポーターズクラブの運営支援 ②　日高ボランティアネットの運営 ③　ボランティア啓発イベントの開催支援 ボランティアサポーターズクラブとの共催により、ボランティア活動の啓発を目的としたイベントを開催しました。 ・イベント名　2026ひだかボランティアフェスタ ・開催期日　令和８年１月31日(土) ・会　場　総合福祉センター ・講　師　埼玉県立大学准教授 川田虎男氏 ・参 加 者　39人

（５）災害ボランティアに関する活動支援 ① 災害ボランティアセンターの運営 ② 災害時における協働体制に関する話し合い	（５）災害ボランティアに関する活動支援 ① 災害ボランティアセンターの運営 実際の運営には至りませんでした。 ② 災害時における協働体制に関する話し合い
（６）ボランティア活動等支援事業補助金の交付（市補助事業） ボランティア団体が行うボランティア活動等を支援するため、その活動に要する経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付します。	（６）ボランティア活動等支援事業補助金の交付（市補助事業） ボランティア団体による地域活性化や地域課題の解決に向けた各種取組に対して助成を行いました。 ・申請団体数　12団体 ・交付決定団体数　11団体 ・確定額　753,414円 ・内訳（交付決定団体及び金額） ① 地域食堂　ちゃぶ台(71,414円) ② 台交流サロン(50,000円) ③ やまなみ食堂実行委員会(100,000円) ④ 地域食堂「めぐみキッチン」(100,000円) ⑤ 梅原元組交流サロン(30,000円) ⑥ チームわくわく(100,000円) ⑦ 横手サロン(36,000円) ⑧ はるのひ会(95,000円) ⑨ 森の子育ち場ぽのぽの（19,000円) ⑩ こま武蔵台福祉ネット(55,000円) ⑪ ピース・フェスティバル実行委員会(97,000円) 【成果と課題】 高齢化等で活動休止や解散するボランティア団体が増えているなかで、ボランティア講座の開催を通じて新たな市民参加を促すことができました。 彩の国ボランティア体験プログラムでは、ボランティア活動への参加を通じて、福祉への関心を高めるきっかけともなることから、今後もより多くの人が参加できるような広報啓発活動や支援が必要と考えます。 福祉教育については、活動後の感想から、当事者意識を持った気づきを得ている児童が多くいたことから、ＤＥＴなどを通じた障がい当事者の福祉教育プログラムへの関与の拡大が課題です。

4　共同募金配分金事業	担当	企画総務課、地域福祉課、相談支援課

令和７年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題
（１）一般募金配分金事業 ①　福祉スポーツ大会 障がい者がスポーツを通じて健康増進を図るための取組を進めます。 ②　訪問カットサービス ③　暮らしの安心相談事業 市民に身近な相談窓口を開設します。 ア　心配ごと相談 イ　無料法律相談 ウ　成年後見・終活相談【一部内容新規】 ④　フードバンクの運営 フードバンク（食料や生活用品の支援）を安定的に運営できるよう体制を整備します。 ⑤　赤い羽根広報事業（広報発行とホームページ運営）	（１）一般募金配分金事業 ①　福祉スポーツ大会（第 44 回）（地域福祉課） ・実施日　令和７年６月７日（土） ・会　場　日高市文化体育館「ひだかアリーナ」 ・参加者数　参加団体　９団体 393 人 協力団体　８団体 38 人 中学生ボランティア　25 人 一般ボランティア（高校生以上）　５人 市役所職員　７人 ②　訪問カットサービス（地域福祉課） ・利用回数　25 回 ・協力店舗数　10 店（理容２店、美容８店） ③　暮らしの安心相談事業 ア　心配ごと相談（相談支援課） 市民の日常生活における悩みや心配ごとに対する相談を 23 回実施し、22 件の相談がありました。 イ　無料法律相談（相談支援課） 弁護士による無料法律相談を 12 回実施し、46 件の相談がありました。 ウ　成年後見・終活相談（相談支援課） 成年後見制度の概要説明、利用に関する相談及び関連する制度等の相談に加えて終活に関する相談など 12 回実施し、29 件の相談がありました。 ④　フードバンクの運営（相談支援課） 管理システムを活用し、食品や生活用品等の効率的な管理を行いました。 ⑤　赤い羽根広報事業（広報発行とホームページ運営）（企画総務課） 社協だより「ひだまり」の発行及びホームページの運営により広報啓発を強化しました。
（２）歳末たすけあい募金配分金事業 ①　おせち料理の宅配 ②　サロン活動の支援 ③　地域づくりの支援 交流、相談支援などを複合的に実	（２）歳末たすけあい募金配分金事業 ①　おせち料理の宅配（地域福祉課） 見守りを必要とする単身高齢者等を対象に、民生委員からの申請によりおせち料理を宅配しました。 ・実施日　令和７年 12 月 26 日（金）

施する地域活動拠点の運営費等の助成や、地域支え合い事業の実施体制の強化のための各種事業を実施します。

④　民生委員・児童委員調査連絡・見守り活動助成

⑤　日高市社会福祉大会

⑥　あいあいまつり

【配分実績】

区　分	令和７年度	前年比
配分件数	84 件	-12 件

②　サロン活動の支援（地域福祉課）

身近な地域で安心して交流できるサロンの運営のため、保険料を負担しました。

③　地域づくりの支援（地域福祉課）

ア　地域活動拠点の整備

地域づくり事業の下地として地域活動拠点の整備や充実のため、助成を実施しました。

イ　地域支え合い活動の支援

住民相互の有償によるサービス提供を図るため、地域おたすけ隊の運営に必要な経費を負担しました。

④　民生委員・児童委員調査連絡・見守り活動助成（地域福祉課）

日高市民生委員・児童委員協議会に依頼して実施する各種調査活動と見守り活動に対して助成しました。

⑤　日高市社会福祉大会（第 39 回）（企画総務課）

市の社会福祉の発展に功績のあった人を表彰し、市内福祉関係者相互の連携と地域福祉活動の更なる普及を図るために開催しました。

・期　日　令和７年11月21日（金）
・会　場　総合福祉センター
・表　彰　市社協会長表彰　14人
　　市社協会長感謝状３団体
　　共同募金会日高市支会会長表彰２人
　　共同募金会日高市支会会長感謝状１人

⑥　あいあいまつり（第18回）（地域福祉課）

・日　時　令和７年10月18日（土）
・会　場　総合福祉センター
・参加者　835人

【成果と課題】

イベント（福祉スポーツ大会やあいあいまつり、社会福祉大会）などを通じ、地域福祉の啓発に努めました。

5　生活福祉資金貸付事業	担　当	相談支援課

令和７年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題

他の機関からの借り入れが困難な低所得世帯等への資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるように実施します。特に、新型コロナウイルスの影響による経済的困窮で進学の機会を断念しないよう教育支援資金の貸付については利用の周知に努めます。

① 生活福祉資金（福祉資金、緊急小口資金、教育支援資金）
② 総合支援資金
③ 不動産担保型生活資金
④ 要保護世帯向け不動産担保型生活資金
⑤ 臨時特例つなぎ資金

埼玉県社会福祉協議会からの委託により、生活福祉資金の貸付に関する相談援助を行いました。

【内容及び貸付利用実績】

福祉資金・教育支援資金	１件
緊急小口資金	０件
総合支援資金	０件
不動産担保型生活資金 要保護世帯向け不動産担保型生活資金	０件
臨時特例つなぎ資金	０件

【成果と課題】

新型コロナウイルス感染症の影響を受け減収した世帯への特例貸付を利用の償還猶予希望者に対し自立相談支援センターと連携したフォローアップ支援を行いました。本則の貸付相談については、「コロナの特例貸付」で社協の貸付が周知された影響もあり令和４年度から急増し、令和６年度は 49 件のところ、令和７年度は 69 件とさらに増加しました。貸付希望者は多いものの要件が緩和されていた特例貸付とは違い、要件から対象とならない世帯が多く、支援決定に至った件数は１件でした。

今後も引き続き、特例貸付終了後の生活困窮者に向けた積極的なフォローアップ支援や教育支援資金の周知などを行い、貸付に至らない世帯に対しては、自立相談支援センターと連携しながら生活安定に向けた支援を行っていきます。

６　福祉資金貸付事業	担　当	相談支援課

令和７年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題
低所得世帯が、臨時的出費又は収入欠如等のおそれがあるため、生活維持が困難となった場合に、その応急的支援によって生活の安定と自立を助け、住民福祉の向上を図ります。	【内容及び実績】

貸付件数	０件
貸付金額	０円
当年度償還済み額	０円
当年度未償還額	０円

（福祉資金貸付現況）

福祉資金元金現額 ＝（１）＋（２）		１，１６２，５９４円
（１）預金保有額 ※当年度延滞利子収入		８０８，５９４円 ０円
（２）貸付現額		３５４，０００円
年度別の内訳額	平成17年度　１件	４５，０００円
	平氏22年度　３件	９０，０００円
	平成23年度　２件	８９，０００円
	平成24年度　１件	３０，０００円
	平成25年度　１件	２２，０００円
	平成26年度　２件	１０，０００円
	平成27年度　１件	１８，０００円
	平成28年度　０件	０円
	平成29年度　０件	０円
	平成30年度　０件	０円
	令和元年度　０件	０円
	令和２年度　０件	０円
	令和３年度　１件	５０，０００円
	令和４年度　０件	０円
	令和５年度　０件	０円
	令和６年度　０件	０円
	令和７年度　０件	０円

【成果と課題】

貸付相談はありましたが、慢性的な生活費の不足や返済の見通しが立たない、また５万円だけではつなぐことができないなどから対象とならず貸付には至りませんでした。償還については連絡が付かないなど償還指導ができず、償還実績もありませんでした。不良債権の整理と制度の見直しが必要です。

7　福祉サービス利用援助事業	担当	地域福祉課

令和７年度事業計画・概要

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等、判断能力が十分でない人が、地域で自立した生活を安心して送れるよう、福祉サービスの利用に関する情報提供や暮らしに必要なお金の出し入れなどの援助を行います。

・基本事業　福祉サービス利用援助
・選択事業　日常生活上の手続き援助
　　日常的金銭管理の援助
　　書類等預かりサービス

事業実施結果・成果と課題

埼玉県社会福祉協議会からの委託により、判断能力が不十分なことにより、自己決定が困難となった高齢者、知的障がい者、精神障がい者等が安心して生活できるよう、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理の生活支援を行いました。

（内容及び実績）　　令和８年３月 31 日現在

相談援助件数	1,258 件			
区分	高齢	知的	精神	計
新規契約件数	5	6	4	15
解約件数	7	8	4	19
契約件数	3	5	4	12

（実施体制）
・専門員　　２人（兼務）
・生活支援員　９人
　　（内訳：雇用型１人、非雇用委嘱型８人）

【成果と課題】

定期的な支援計画の評価を実施し、適正に事務を行いました。

日常的な金銭管理が困難な状況にある人やその関係者からの相談が多く、生活課題が複合化している相談が増えていることから、関係機関との連携強化が求められています。また、生活支援員の確保等、職員体制の整備が課題です。

今後、複合課題のある人や身寄りのない人への対応、また現在の契約者の判断能力の低下に合わせた支援の見直し（成年後見制度への移行等）を進めていく必要があります。

8　障がい者相談支援事業

担　当	相談支援課

令和７年度事業計画・概要

（１）　障がい者計画相談事業

障がい福祉サービスを希望する人に、課題の解決や適切なサービス利用に向けて、障がい者相談支援センター「ぷらむ」が支援します。

①サービス利用支援

②継続サービス利用支援

（２）　障がい者相談支援事業（市受託事業）

障がい者の福祉に関する様々な問題について、相談に応じ、必要な情報提供、障がい福祉サービスの利用支援等を行うほか、権利擁護のために必要な援助を行います。

（３）その他の活動

①インテーク会議の出席

②日高市相談支援事業所連絡会の出席

③精神定例会の出席

④精神障害に対応した地域包括ケアシステム構築のための事業所連絡会議への出席

⑤当事者会（仮称）の設立準備会議への出席【新規】

⑥日高市障害者総合支援協議会差別解消部会への出席

事業実施結果・成果と課題

（１）　障がい者計画相談事業

障がい福祉サービス等を希望する人に、サービス等利用計画についての相談及び作成等の支援が必要な場合に、障がい者の自立した生活を支え、抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントにより、支援を行いました。

【内容及び実績】

契約件数	120 件				
区分	身体	知的	精神	他	計
計画相談	2	20	21	0	43
相談支援	4	25	40	8	77

（２）　障がい者相談支援事業（市受託事業）

日高市からの委託により、障がい者の福祉に関する様々な問題について、相談に応じ、必要な情報の提供、障がい福祉サービスの利用支援等を行うほか、権利擁護のために必要な援助を行いました。

（３）　その他の活動

各会議への出席を通じて、他事業所との情報共有や他市の取り組み等知る事が出来ました。⑤当事者会の設立については、「POM」の活動を開始する事ができ、活動については相談支援センター「なずな」で活動サポートする事となりました。また、⑥差別解消部会については、リーフレットの作成を終え、活動も終了しました。

【成果と課題】

計画相談支援事業については、必要時、計画作成、モニタリングを実施する事ができました。計画作成については、他相談支援事業所に繋ぐことで円滑にサービス利用が出来る様に支援をさせて頂きました。市内相談支援事業所でも受け入れが厳しい状況もあり、今後円滑なサービス利用に向け、体制を整備していく事も課題となってくると予想されます。

未受診、ひきこもりの相談も増えてきており相談員としても幅広い対応が求められてくると感じています。

社会福祉事業

Ⅱ　ヘルパーステーション

1　訪問介護等事業	担　当	生活援助課

令和７年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題

（１）介護保険法によるサービスの実施

①　身体介護・生活支援

食事、着替え、入浴介助等の身体介護、調理、洗濯、掃除、買物等の生活援助の支援を行います。

②　相談・助言

生活、身上、介護に関する相談及び助言を行います。

（２）総合事業によるサービスの実施（要支援からの移行）

（１）介護保険法によるサービスの実施

（２）総合事業によるサービスの実施（要支援からの移行）

介護保険法に基づき、訪問介護計画を作成し、利用者が自宅で安心かつ安全な生活が送れるよう適切な援助を実施しました。体調管理や感染予防対策を徹底し、サービスを行いました。利用者のニーズとケアマネジメントに沿った質の高いサービスの提供に努めました。また、利用者から相談を受けた際は、ケアマネジャーと連携して利用者の不安を解消できるよう対応しました。

【訪問介護　活動実績】

	利用数／件	訪問数／回	訪問／時間
令和７年度	174	1,344	1,426
令和６年度	259	2,141	2,237
比較増減	△85	△797	△811

【介護予防訪問介護（総合事業）　活動実績】

	利用数／件	訪問数／回	訪問／時間
令和７年度	279	1,078	1,078
令和６年度	256	1,540	1,540
比較増減	23	△462	△462

（３）研修会、実習生の受け入れの実施

①　研修会の実施

サービスの質の向上や介護技術を高めるために、検討会議及び各種研修会を行います。

②　実習生の受け入れ

介護福祉士養成のための実習の場を提供します。

（３）研修会、実習生の受け入れの実施

①　研修会の実施

・認知症介護基礎研修

・感染症介護基礎研修

・虐待、身体拘束研修

②　実習生の受け入れ

令和７年９月　大川学園より１人受け入れました。

【成果と課題】

ホームヘルパーの退職等により、他事業所に移行し訪問終了となった件数が昨年度より増えました。

2　障がい福祉サービス事業

担　当	生活援助課

令和７年度事業計画・概要

（１）障害者総合支援法によるサービスの実施

① 居宅介護

知的・身体・精神の障がいがある人、難病疾患がある人への身体介護及び家事援助の支援を行います。生活する中での相談助言を行います。

② 重度訪問介護

日常生活全般に常時支援を要する、脳性まひ等全身性障がいがある人への日常生活支援を行います。

③ 同行援護

屋外での移動に制限のある視覚障がいがある人への移動介護を行います。

④ 移動支援（地域生活支援事業）

屋外での移動に制限のある全身性障がい及び知的障がいがある人への移動介護を行います。

（２）子育て世帯訪問支援事業（市受託事業）

家事及び養育の支援が必要な家庭へ、市の要請に基づきホームヘルパーの派遣を行います。

（３）委員会の開催

虐待防止のための委員会を開催します。

事業実施結果・成果と課題

（１）障害者総合支援法によるサービスの実施

在宅生活の維持継続と利用者が自宅において自立した生活が送れることを念頭に居宅計画を作成し、計画に沿ったサービス提供を行いました。また、感染予防対策を徹底し、可能な範囲で家に閉じこもることなく、健康増進のため等、一人での外出の困難な障がい者への、外出支援を行いました。

【居宅介護・重度訪問介護・同行援護活動実績】

年度	利用数/件	訪問数／回	訪問／時間
令和７年度	85	347	601.00
令和６年度	101	408	731.25
比較増減	△16	△61	△130.25

【移動支援活動実績】

年度	利用数／件	訪問数／回	訪問／時間
令和７年度	34	57	229.5
令和６年度	37	63	250.00
比較増減	△3	△6	△20.5

（２）子育て世帯訪問支援事業（市受託事業）

【子育て世帯訪問支援活動実績】

年度	利用数／件	訪問数／回	訪問／時間
令和７年度	0	0	0
令和６年度	0	0	0
比較増減	0	0	0

※実績なし

（３）委員会の開催

虐待防止等の委員会を開催しました。

【成果と課題】

感染予防対策を徹底しつつ、外出先での移動支援を実施しました。

社会福祉事業

Ⅲ　総合福祉センター管理・経営事業　【指定管理事業】

1　総合福祉センター	担　当	企画総務課

令和７年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題
（１）総合福祉センター管理・経営 ①　会議室等の貸出・調整業務 会議室等の貸出及び利用に際し、適切に手続きを行います。 ②　建物・施設の維持管理 建物及び施設の維持管理、保守点検、修繕、清掃などを適切に実施し、安全意識を持った管理運営を行います。 ③　職員の研修 緊急時の適切な対応を目的として研修の充実を図ります。 ア　消防訓練の実施 災害を想定し、年２回の消防訓練を実施します。 イ　普通救命講習の実施 職員の資質向上及び緊急時に適切な対応ができるよう、普通救命講習を行います。 ④　自主事業の充実 サービスの質の向上を図ることを目的として、指定管理者として取り組む自主事業の充実を図ります。 ア　利用者アンケートの実施 来館者の要望を把握し、サービスに反映させるため、アンケートを実施します。 イ　情報提供の充実 センターでの催事や取組について、積極的に情報提供を行い、利用者の拡大を図ります。 ウ　利用機会の拡大による市民交流の促進	（１）総合福祉センター管理・経営 ①　会議室等の貸出・調整業務 会議室等の貸出業務を適正に行うとともに、明るい窓口対応や快適で安全に利用いただくことを心掛けました。 ※　利用実績については、部屋別利用実績（別表１）、浴室利用実績（別表２）参照 ②　建物・施設の維持管理 安定的な運営を確保するため、市が作成した公共施設点検マニュアルにもとづいた日常及び定期の保守点検を確実に行うことで異常の早期の発見に努めるとともに、速やかに修繕等を実施しました。 ③　職員の研修 ア　消防訓練の実施 消防計画に基づき、避難誘導・救護等の総合的な訓練を２回実施しました。 令和７年９月 26 日（金）、令和８年３月５日（木） イ　普通救命講習の実施 令和８年３月３日（火） ④　自主事業の充実 ア　利用者アンケートの実施 実施期間 令和７年12月１日（月）～27日（土） 120人のかたから回答をいただきました。 イ　情報提供の充実 館内での情報コーナーを運営し、来館者へ行事や生活に関する情報を提供しました。 ウ　利用機会の拡大による市民交流の促進 ○ホワイエを使用した健康づくり教室の実施 健康増進を目的としたサークル活動を行っている団体に協力依頼を行い、毎週水曜日の午前中に実施しました。 ○壁面利用の市民ギャラリーの実施

○ホワイエを使用した健康づくり教室の実施 ○壁面利用の市民ギャラリーの実施	日高市絵画連盟、日高市書道連盟、日高市写真連盟を指定団体とし、展示期間を定めて作品を展示し、来館者の皆様に楽しんでいただきました。 【成果と課題】 コロナ禍以降受講出来ていなかった普通救命講習の受講機会を設け、職員をはじめ外部委託の総合管理業者も交えて受講することが出来ました。 また、教養娯楽室の畳の張り替えや室内照明のＬＥＤ化など環境を整え、利用者のかたが快適に過ごせるよう改善しました。 一方で、施設設立から30年近くが経過し、設備機器の各所に経年による脆弱化が確認されています。大規模修繕を要するものもあるため、市と調整・連携しながら建物の維持管理に努めていきます。

（別表１）部屋別利用実績　　単位：人

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
研修室	1,055	1,336	1,262	2,021	889	1,358	1,382	1,435	1,257	1,180	2,302	1,331	16,808
大広間	90	82	98	149	188	86	74	61	73	69	95	125	1,190
教養娯楽室	342	309	339	321	317	331	392	440	441	342	439	370	4,383
調理実習室	31	31	26	104	9	32	63	67	127	16	106	51	663
生涯学習室	665	622	581	560	485	699	778	759	633	641	614	731	7,768
余暇活動室	438	377	392	460	273	385	458	431	416	416	384	464	4,894
会議室A	215	251	224	238	202	238	228	306	203	204	213	254	2,776
会議室B	152	149	177	150	141	139	160	135	157	140	165	168	1,833
会議室C	303	350	348	340	311	335	370	322	319	300	392	391	4,081
エントランス	313	58	87	256	66	64	641	82	77	87	51	77	1,859
グラウンド	352	208	300	335	284	218	274	461	398	215	458	305	3,808
合　計	3,956	3,773	3,834	4,934	3,165	3,885	4,820	4,499	4,101	3,610	5,219	4,267	50,063
前年度比	△ 325	△ 335	△ 12	416	71	△ 253	△ 1,259	△ 362	110	△ 604	1,166	△ 556	△ 1,943

（別表２）浴室利用実績　　単位：人

	広域内		広域外	人数計	前年度比
	100円	200円	600円		
４月	3,103	419	8	3,530	112
５月	3,201	447	15	3,663	169
６月	2,958	406	21	3,385	181
７月	2,876	387	36	3,299	58
８月	2,965	396	25	3,386	158
９月	2,208	362	54	2,624	△ 102
１０月	3,165	387	13	3,565	140
１１月	3,278	416	9	3,703	84
１２月	3,173	385	5	3,563	1,969
１月	3,268	459	21	3,748	162
２月	3,339	467	14	3,820	110
３月	3,603	445	20	4,068	148
合計	37,137	4,976	241	42,354	3,189
前年度比	2,858	240	91	3,189	
月平均	3,095	415	20	3,530	

※９月14日～19日は、老人週間により65歳以上の方は入浴無料日。期間中の無料入浴者は786人でした。

社会福祉事業

Ⅳ　こまのさと作業所

1　こまのさと作業所	担　当	生活援助課

令和７年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題
障害者総合支援法に基づき、利用者に就労する機会を提供するとともに、能力等の向上のために必要な訓練を行います。また、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、利用者及び家族の意向、適性・障がいの特性、その他の事情を踏まえた個別支援計画を作成し、利用者に対して適切かつ安心できる日中活動サービスを実施します。	対 象 者：身体障がい者、知的障がい者（18 歳以上） 開 所 日：月曜日～金曜日（祝日を除く） 開所時間：午前９時 30 分～午後４時 開所日数：238 日 利用者数：22 人（男 15 人、女７人） 年間延べ 4,396 人　１日平均 18.5 人 利用率 92.4%
（１）就労支援事業の実施 障がいがあってもその人らしく誇りややりがいをもって、安心して快適に就労するための支援を行います。 ①　企業からの請負作業 ア ギフト商品に関する作業 イ 金属ボルトの計数・結束作業 ウ　種の袋入れ作業 エ 学習シール等の袋入れ作業 オ 商品券の箱折り作業 カ 付録ばらし作業 キ 施設外就労 ②　自主製品製造販売事業 ア 古紙リサイクル植木鉢 イ 廃油リサイクル石けん ウ　その他工芸品 ③　その他 ア 郵便切手類の販売 イ 洗車 ④　一般就労に向けた支援 ア 職場実習 イ 求職活動支援	（１）就労支援事業の実施 ①　企業からの請負作業 ・(株)サンシャイン企画（日高市） ・(株)アムハード小西（日高市） ・(有) プラスワン（坂戸市） ・(株) 新生化工（日高市） ・(福) むさしの日高作業所（日高市） ・(有)ハリカ（飯能市） 令和７年度請負作業収入　1,857,002 円 （前年度比　△763,102 円） ②　自主製品製造販売事業 （主な常設販売スペース） ・市総合福祉センター ・その他 （出店販売、その他） 令和７年度自主製品他事業収入　44,404 円 （前年度比　△94,409 円） ③　その他 日高市集団資源回収奨励報奨金他 令和７年度資源回収事業収入　88,528 円 （前年度比　△8,972 円） ④　一般就労に向けた支援 実施なし
（２）その他	（２）その他

地域社会との交流を深め、関係機関と連携を図り、地域の中で社会の一員として意欲と生きがいを持って生活するための支援を行います。 ① 身辺処理・日常生活能力向上のための取り組み ② 社会生活能力向上のためのプログラムの実施 ③ イベント等への参加 ④ 余暇活動、レクリエーションの実施 ⑤ 送迎車の運行 希望する利用者の自宅又は指定場所までの送迎を実施することで、利用者の通所時の安全確保と、保護者の負担軽減を図ります。	① 身辺処理・日常生活能力向上のための取り組み ア 着替えや整容、食事や排泄の支援 イ 掃除や洗濯等スキルの向上 ② 社会生活能力向上のためのプログラムの実施 ア グループ外出プログラム 実施なし イ 日帰りバス旅行 実施なし ③ イベントへ等の参加 ・令和７年６月７日(土) 福祉スポーツ大会 ・令和７年 10 月 18 日(土) あいあいまつり (カフェギャラリー作品展示) ・赤い羽根街頭募金活動：不参加 ・日高市民まつり：不参加 ④ 余暇活動、レクリエーションの実施 ・令和７年 12 月 26 日(金)忘年会 ・令和８年３月 30 日 (月) お疲れさま会 ⑤ 送迎車の運行 コ ー ス 高麗、高麗川、高萩コース 運行日数 238 日 利 用 者 20 人 年延べ利用者:6,654 人(往復) (１日平均 28.0 人)
（３）委員会の開催	（３）委員会の開催 令和８年３月 24 日(火)虐待防止委員会 【成果と課題】 サービスが途切れることなく提供できるように、感染予防対策を徹底しました。就労支援事業は、請負作業を中心に取り組みましたが、収入は減少しました。職員体制が整わずに、行事など中止となりました。また、障がい特性や加齢に伴い、見守りや支援が必要な利用者が増えていますが、利用者の健康増進・モチベーションを維持し、安心・快適な日中活動サービスを実施しました。

社会福祉事業

Ⅴ　ファミリーサポートセンター　【市受託事業】

1　ファミリーサポートセンター	担　当	相談支援課

令和７年度事業計画・概要

（１）　ファミリーサポートセンター事業

子育ての援助をしたい人（協力会員）と援助をしてほしい人（利用会員）の双方が会員となり、会員間の援助活動の調整を行うことで、子育て支援を促進するため、日高市ファミリーサポートセンターを運営します。

① 会員の募集、登録その他会員組織の運営
② 援助活動の調整及びあっ旋
③ 会員に対して、援助活動に必要な知識を付与するために行う講習会等の開催（協力会員講習会）
④ 会員同士の親睦や情報交換の場として定期交流会の開催
⑤ アドバイザーの配置
⑥ アドバイザーのスキルアップのための研修参加
⑦ 広報（ファミサポ通信の発行）

事業実施結果・成果と課題

（１）ファミリーサポートセンター事業

① 会員の募集、登録その他会員組織の運営

・会員登録の状況

内　訳	令和７度	前年度
利用会員	211 人	221 人
協力会員	93 人	95 人
両方会員	8 人	7 人
合　　計	312 人	323 人

② 援助活動の調整及びあっ旋（別表１参照）

③ 協力会員講習会

【協力会員研修（１回目）】

・令和７年　６月25日（水）　参加人数　５人
　　７月２日（水）　参加人数　４人
　　７月９日（水）　参加人数　５人

【協力会員研修（２回目）】

・令和７年　10月22日（水）　参加人数　６人
　　10月29日（水）　参加人数　６人
　　11月５日（水）　参加人数　５人

④ 定期交流会

強化月間として、市役所子育て応援課前パネル展示を実施しました。（２月１日～28日まで）

⑤ アドバイザーの配置（２人）

⑥ アドバイザーのスキルアップのための研修会参加

・子育て支援従事者研修
　令和７年 10 月 22 日（水）（teams）
・全国アドバイザー講習会・交流会
　令和７年 10 月 24 日（金）（zoom）
・アドバイザー研修
　令和８年１月 15 日（木）（teams）

⑦ 広報（ファミサポ通信）の発行

ファミリーサポートセンターの取組を周知するとともに、会員間の情報交換を目的に発行しました。

（発行日）　第37号　令和７年８月号

<table>
<tr>
<td>
（２）産前産後家庭サポート事業
①　サポーターの募集・登録その他会員組織の運営
②　援助活動の調整及びあっ旋
③　サポーターの養成
④　「子育て応援！育児スタートサポート券」

（３）その他の活動
①　日高市要保護児童対策地域協議会実務者会議の出席

②　日高市児童福祉審議委員会の受嘱
③　子育て応援課との定期連絡会の実施
④　協力会員増員のための養成講習会の定期開催（年２回）
</td>
<td>
第38号　令和７年12月号
第39号　令和８年３月号
ファミサポチラシQRコードからの問い合わせ
・17件（５件：登録済み）
（２）産前産後家庭サポート事業
①　サポーターの募集・登録その他会員組織の運営
・登録の状況
<table>
<tr><th>内　訳</th><th>令和７年度</th><th>前年度</th></tr>
<tr><td>新規利用者</td><td>10 人</td><td>11 人</td></tr>
<tr><td>サポーター</td><td>50 人</td><td>49 人</td></tr>
<tr><td>合　　計</td><td>60 人</td><td>60 人</td></tr>
</table>
②　援助活動の調整及びあっ旋
・活動時間数（別表２参照）
活動件数 37 件、利用者実人数９人、対応サポーター実人数５人
③　サポーターの養成
・サポーター講習会 令和７年10月29日（水）
参加人数４人（協力会員講習会と合同）
④　子育て応援　育児スタートサポート券の利用
利用世帯８世帯、利用枚数 15 枚
子育て支援センターぬくぬくでの周知、パパママ教室での産前産後家庭サポート事業の紹介
（３）その他の活動
①　日高市要保護児童対策地域協議会実務者会議出席
・令和７年５月19日（月）、７月28日（月）、９月29日（月）12月15日（月）、令和８年２月16日（月）
②　日高市児童福祉審議委員会の受嘱
③　子育て応援課との打ち合わせ
・令和７年４月～令和８年３月（月１回）計12回
④　協力会員増員のための養成講習会開催（年２回）
【成果と課題】
子育て支援センターぬくぬく開催パパママ教室での産前産後家庭サポート事業の紹介をすることにより、ご利用の回数が増えましたが、事業終了のため今後はぬくぬくをはじめ他の子育て支援センターにも出向き、ファミサポの紹介、周知に努めて参ります。
また、24 時間の協力会員講習会を開催し、引き続き協力会員の確保に努めてまいります。
</td>
</tr>
</table>

〔別表１〕ファミリーサポートセンター援助活動の状況

内　　容	７年度	前年度
保育所・幼稚園の登園前の預かり	2 回	5 回
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	244 回	78 回
保育所・幼稚園の送り	334 回	233 回
保育所・幼稚園の迎え	333 回	57 回
学童保育終了後の預かり	17 回	5 回
学童保育開始前の預かり	1 回	0 回
学童保育の迎え	167 回	272 回
学校の放課後の預かり	0 回	12 回
学校の登校前の預かり	0 回	0 回
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	3 回	0 回
保護者等の外出の場合の援助	20 回	50 回
小学校へ／からの小学生の送迎	2 回	0 回
学童保育へ／からの小学生の送迎	0 回	0 回
子どもの病気時の援助	0 回	0 回
子どもの習い事等の場合の援助	304 回	271 回
保育所・学校等休み時の援助	28 回	65 回
保育所等施設への入所前の援助	67 回	0 回
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	0 回	2 回
保護者等の求職活動中の援助	0 回	0 回
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	0 回	1 回
協力会員宅以外での援助	226 回	198 回
保護者が介護等を行っている時の援助	0 回	3 回
その他	29 回	89 回
合　　計	1,777 回	1,341 回

※１回の活動に複数の区分に該当する場合はダブルカウントしています。
※その他内容：習い事後のお預かり、放課後デイサービス前後のお預かり。

〔別表２〕産前産後家庭サポート援助活動の状況

内　　容	７年度	前年度
家事支援（食事の準備）	47 時間	26.5 時間
家事支援（居室等の掃除）	5 時間	5 時間
家事支援（洗濯）	7.5 時間	1 時間
家事支援（買い物）	0 時間	3 時間
育児支援（もく浴の介助）	0 時間	0 時間
育児支援（授乳の補助）	1 時間	3.5 時間
その他	10.5 時間	4 時間
合計	71 時間	43 時間

※その他：見守り、服の整理

令和７年度

事業報告

公益事業区

公益事業

Ⅰ　地域包括支援センター

1	地域包括支援センター	担　当	包括支援課

令和７年度　事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題
（１）包括的支援事業 ①　第一号介護予防支援事業 総合事業において、事業対象者に支援計画を作成し、訪問型サービス、通所型サービスを適切に提供し、自立した生活が続けられるよう支援します。 ②　総合相談支援業務 本人、家族、地域住民、ネットワーク関係者などからの情報をもとに、高齢者宅を訪問することで心身の状況や家庭環境などを把握し、相談者に適切な支援や提案を行います。	（１）包括的支援事業 ①　第一号介護予防支援事業 訪問介護、通所介護のみを利用しているかたに介護予防ケアマネジメント対象者としてサービスの利用を提供しました。 ②　総合相談支援業務 延べ 1,606 件（前年度比 227 件）の総合相談がありました。
（２）権利擁護業務 ①　成年後見制度の活用 ②　高齢者虐待への対応 ③　困難事例への対応 ④　消費者被害の防止	（２）権利擁護業務 ①　成年後見制度の活用 制度の活用や周知に努めました。 ②　高齢者虐待への対応 延べ 16 件（内、実人数 6 件・前年度比 16 件）でした。 ③　困難事例への対応 延べ 1,006 件（前年度比△477 件）の支援を行いました。支援の長期化・複雑化に伴い、多機関との連携が必要となっています。 ④　消費者被害の防止 日高市消費生活相談センターと連携し、被害の防止に努めました。
（３）包括的・継続的ケアマネジメント業務 ①　包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築 ②　介護支援専門員に対する支援 ③　ケアマネサロンの開催	（３）包括的・継続的ケアマネジメント業務 ①　包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築 関係機関、自治会、ボランティア団体、企業との連携に努めました。 ②　介護支援専門員に対する支援

	延べ88件（前年度比24件）のケアマネ相談支援をおこないました。 ③ ケアマネサロンの開催 ケアマネサロン（今年度6回）の開催を通じて介護支援専門員の資質の向上に努めました。
（4） 在宅医療・介護連携推進事業 ① 多職種連携座談会「飯能・日高ワールドカフェへの参加 ② 「在宅医療連携拠点はんのう」との連携	（4）在宅医療・介護連携推進事業 ① 多職種連携座談会 飯能・日高ワールドカフェへの参加 Zoom会議に参加の他、集合型のワールドカフェに参加しました。市民フォーラムは飯能市市民会館にてイベントを行いました。 ② 「在宅医療連携拠点はんのう」との連携 メディカルケアステーション（MCS）に登録しSNSで情報交換を行いました。飯能市・日高市情報交換会や研修会に出席し、情報交換と連携を図りました。
（5）認知症総合支援事業 認知症の方が地域で安心して住み続けられるよう、早期に適切な支援に努めます。 ① 認知症初期集中支援事業 ② 認知症地域支援推進員の活動 ③ 認知症家族・当事者への支援 オレンジカフェ（認知症カフェ）の実施や認知症相談窓口の普及を通して、認知症の人およびその家族や支援者の社会参加を支援します。	（5）認知症総合支援事業 ① 認知症初期集中支援事業 定期チーム員会議に参加しました。認知症相談とし59件の報告を行い、医師等からのアドバイスにより認知症の人の支援に努めました。 ② 認知症地域支援推進員の活動 定期会議に参加。認知症サポーター養成講座やステップアップ講座の開催、認知症関連事業の情報誌の作成をし、年2回全戸配布しました。 ③ 認知症家族・当事者への支援 東急こまがわ、たかねサロンにて月1回のオレンジカフェを定期開催しました。
（6）生活支援体制整備事業（第2層担当） 第1層の担当者と連携して地域に高齢者が気軽に集える場所を作ります。 ① 担当圏域のニーズと既存の社会資源の把握、担い手づくりなど、住民共助の活動の充実に努めます。	（6）生活支援体制整備事業（第2層担当） URと連携し、居場所づくりに向けた介護予防イベントを6回実施しました。 その内、1回は介護者サロンを開催しました。

② 圏域内でケアラーを支援するための介護者サロンの開催と圏域内の地域ケア会議の継続開催を目指します。	
（7）地域ケア会議の充実 ① ケアマネジメント支援型地域ケア会議の参加 ② 圏域型地域ケア会議	（7）地域ケア会議の充実 ① ケアマネジメント支援型地域ケア会議参加 市が主催するケアマネジメント支援型の地域ケア会議への出席、進行、助言を行いました。 ② 圏域型地域ケア会議 圏域内3か所（原宿・こま川団地・東急）で心配なかたの情報交換や、地域課題の話し合いを行いました。
（8）指定介護予防支援	（8）指定介護予防支援事業 要支援認定者のかたに適切な介護予防プランを作成しサービスを提供しました。
（9）一般介護予防事業 ① 日高市健康ロコモ体操や認知症予防を含めたフレイル予防教室を公民館にて開催します。 ② 圏域内での介護予防に関する実情やニーズに応じ、介護予防教室の内容を検討し、開催します。 ③ 地域介護予防活動支援事業 住民主体の介護予防教室として開始した「くりくり元気体操」の普及とその活動を適宜支援していきます。	（9）一般介護予防事業 ① 日高ロコトレ教室 2か所の公民館にて計24回開催し、ロコモティブシンドロームの予防に努めました。 はつらつ健幸教室 2か所の公民館で計24回開催し、フレイル予防の普及啓発に努めました。 ② 圏域型介護予防教室 高麗川公民館文化祭に参加し、地域包括支援センターや介護予防に関する周知、体操をおこないました。 また、当センターが企画した介護予防教室を高麗の郷にて開催しました。 ③ 地域介護予防活動支援事業 住民主体の介護予防教室として開始した「くりくり体操」の普及とその活動を支援する介護予防ボランティア（くりくりサポーター）の支援に努めました。
(10) その他の事業 ① 介護保険制度などの出前講座や出前相談の実施 ② 認知症サポーター養成講座の実施	(10) その他の事業 ① 出前講座を計1回開催しました。 ② 認知症サポーター養成講座を計8回開催

③ 地域包括支援センター便りの発行（年２回） ④ おれんじ便りの発行（年２回） ⑤ 居宅介護支援事業者及び介護サービス事業者情報交換会の開催（偶数月） ⑥ 在宅看護実習生の受け入れ ⑦ 救急医療情報キッドの配布（随時）	しました。 ③ ④ 略 ⑤ 市内３包括共同で介護保険や高齢者支援に関する情報を発信しました。 ⑥ 埼玉医科短期大学看護実習生の他、飯能看護専門学校の実習生を受け入れ、地域ケアや介護予防の重要性について学習支援を行いました。 ⑦ 略
(11) その他 ① 虐待防止のための委員会の開催 ② 感染症対策のための委員会の開催 ③ 業務継続計画の研修・訓練ならびに検証・見直し	(11) その他 各種研修会、委員会に参加しました。 【成果と課題】 地域包括支援センターが高齢者の身近な相談窓口として周知されたことで、総合相談実績が前年度に比べて増えました。今後はさらに地域のニーズをとらえた事業展開に努めていきます。

令和7年度地域包括支援センター事業実績月次報告書（高麗川）

様式第1号（第6関係）

センター名	高麗川地域包括支援センター			4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	計
総合相談事業	計（電話・来所・訪問・文書） A			99	110	124	148	136	159	776	140	126	127	157	144	136	830	1606
	電話			54	55	57	83	71	81	401	68	69	62	89	65	66	419	820
	来所			18	22	30	25	30	29	154	20	23	24	30	38	41	176	330
	訪問			26	33	37	39	34	49	218	52	34	41	37	41	29	234	452
	文書			1	0	0	1	1	0	3	0	0	0	1	0	0	1	4
	（再掲）認知症に関連する総合相談			5	3	5	3	3	6	25	5	6	5	7	4	7	34	59
	相談実人数			71	81	83	83	95	106	519	93	83	87	109	92	96	560	1079
権利擁護事業	相談件数	相談件数		55	93	77	117	107	87	536	92	107	68	91	81	60	499	1035
		延件数	成年後見制度	0	1	0	0	0	1	2	0	5	5	0	1	0	11	13
			高齢者虐待	1	0	0	6	5	1	13	0	0	3	0	0	0	3	16
			困難事例	54	92	77	111	102	85	521	92	102	60	91	80	60	485	1006
			消費者被害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計		28	40	39	52	45	41	245	42	34	37	38	35	27	213	458
		実人数	成年後見制度	0	1	0	0	0	1	2	0	4	3	0	1	0	8	10
			高齢者虐待	1	0	0	2	1	1	5	0	0	1	0	0	0	1	6
			困難事例	27	39	39	50	44	39	238	42	30	33	38	34	27	204	442
			消費者被害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高齢者虐待対応	訪問調査に至った件数	延件数	1	0	0	2	3	1	7	0	0	9	0	0	0	9	16
			実人数	1	0	0	1	0	1	3	0	0	1	0	0	0	1	4
		立入につなげた回数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		「やむを得ない事由」、「環境上・経済上の理由」による入所措置（実人数）		0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	2
包括的・継続的ケアネジメント支援事業	ケア体制の構築	圏域型地域ケア会議開催件数		2	1	0	2	1	0	6	2	1	0	2	1	0	6	12
		個別ケース型地域ケア会議開催件数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日常相談業務	ケアマネ相談件数（延件数） C		1	5	5	6	11	14	42	16	10	5	8	7	0	46	88
		サービス事業者相談（延件数） D		1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他の連携	医療機関との連携（延件数）		40	53	47	31	56	62	309	54	38	53	52	55	55	307	616
		その他の機関との連携（延件数）		98	102	167	222	173	165	927	227	186	168	175	198	188	1142	2069
相談件数計（A+B+C+D）				156	208	208	271	254	260	1355	248	243	200	256	232	204	1383	2738
第1号介護予防支援事業	介護予防ケアマネジメント実施状況	介護予防ケアマネジメント件数		65	69	66	62	70	73	405	72	77	77	80	82	74	462	867
		内、業務委託件数		5	5	5	5	4	5	29	5	5	6	6	6	5	33	62
		業務委託事業者数		5	5	5	5	4	5	29	5	5	6	6	6	5	33	62
指定介護予防支援業務	介護予防支援実施状況	介護予防支援事業件数		113	118	122	125	113	122	713	128	130	132	129	123	126	768	1481
		内、業務委託件数		14	14	15	17	13	13	86	11	11	12	12	12	12	70	156
		業務委託事業者数		6	6	6	5	4	5	32	3	3	3	3	3	3	18	50
認知症総合支援事業	認知症カフェの実施回数			2	2	2	2	2	2	12	2	2	2	2	2	2	12	24
	参加者数			24	21	19	10	16	21	111	19	27	29	17	17	24	133	244
フレイル予防教室	はつらつ健幸教室の実施回数			2	2	2	2	2	2	12	2	2	2	2	2	2	12	24
	参加者数			52	46	47	44	39	46	274	46	56	39	49	32	33	255	529
一般介護予防教室	一般介護予防教室などの実施回数			2	2	2	2	2	3	13	2	2	2	2	3	2	13	26
	参加者数			54	56	55	54	45	67	331	44	39	50	50	82	46	311	642

公益事業

Ⅱ　障がい者就労支援センター　【市受託事業】

1　障がい者就労支援センター	担　当	相談支援課

令和７年度事業計画・概要

障がい者の就労機会の拡大を図るとともに障がい者が身近な地域において安心して働き続けられるよう、就労促進を行うことにより、障がい者の自立と社会参加を図ることを目的として、日高市障がい者就労支援センター「えるむ」を運営します。

（１）就労支援の実施方法

① 職業相談

② 就労準備の支援

③ 職場的アセスメントの推進

④ 職業開拓

⑤ 職場実習の支援

⑥ 職場定着の支援

⑦ 離職時の調整及び離職後の支援

（２）その他の活動

① インテーク会議の出席

② 日高市障害者地域総合支援協議会差別解消部会への出席

事業実施結果・成果と課題

本年度は、前年度に比べ新規相談・新規登録者数が増加しました。身体の障がいをお持ちの中途障がい者の登録が増加傾向です。

また、より良い支援を目的に登録者の現状を確認し本人同意のもと登録者管理を行いました。今後も更に充実したモニタリングに努めたいと思います。

障がい者の差別解消法に関わる部会では、障がい者差別解消法に関するパンフレットを作成、商工会等に配布することで、差別解消法に関する周知ができました。この取組をもって部会は終了となりました。

【内容及び実績】

支援項目	身体	知的	精神	合計	前年度
新規相談件数	14	9	18	41	26
新規登録件数	11	8	18	37	18
登録抹消件数	3	5	14	22	4
職場見学人数	9	11	24	44	42
企業面接人数	7	2	15	24	32
職場実習人数	4	4	10	18	25
一般就労人数	7	8	16	31	29
継続支援Ａ型人数	0	0	0	0	2
休職人数	0	4	4	8	0
復職人数	0	1	1	2	0
離職人数	0	7	10	17	16
就労アセスメント	1	1	4	6	11
職場定着支援回数	204	1,493	1,376	3,073	3,327

【成果と課題】

きめ細やかな職場定着支援を行うことで、離職を防止するとともに、企業からも人材募集や求人情報を頂く事が増えています。今後も増加傾向にある大人になってから手帳を取得し障がい者雇用での就労を希望する相談者に対し、強みや弱みに目を向けたアセスメントを行い、就職後も就労し続けられるよう支援していきたいと思います。

公益事業

Ⅲ　生活困窮者自立支援事業　【市受託事業】

1　生活困窮者自立相談支援事業	担　当	相談支援課

令和７年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題

（１）生活困窮者自立相談支援事業

①　自立相談支援事業

アセスメントによりプラン案の作成、支援調整会議の実施

②　自立相談支援事業による就労支援

③　住居確保給付金の申請や支給決定後の支援

④　生活困窮世帯の子どもの学習支援

⑤　無料職業紹介事業

⑥　職員の資質向上のための研修受講促進

⑦　緊急食糧支援の実施（年末年始を含めた随時支援）

（２）地域づくり・地域連携業務（相談支援体制包括化の推進）

行政、関係機関、市民との連携を進めます。

①　普及・啓発促進

②　新たな社会資源の検討・その他情報の活用と連携

③　フードバンク・フードドライブの実施

④　フードパントリーの定期開催

⑤　大人用おむつ無償提供会開催

⑥　「生活の困りごと相談」の出張開催

⑦　特例貸付借受人へのフォローアップ支援【新規】

（１）生活困窮者自立相談支援事業

（２）地域づくり・地域連携業務（相談支援体制包括化の推進）

生活困窮者等の自立と尊厳の確保に向けた相談支援を行いました。

【内容及び実績】

相談実績		支援実績		出張相談	
相談受付	176	調　整	1,386	相談対応	6
プラン作成	25	相談支援	1,616		
		同行支援	48		
		食糧支援	114		

【成果と課題】

・　新規相談受付件数は176件と、令和６年度の155件と比べて20件以上増加しました。

・　例年に比べて高齢者やひきこもりに関する相談が多く、他機関と連携をすることが特に増えました。

・　生活応援としてフードパントリーを８回実施し、延べ687世帯へ食の支援を行い、個別の食料支援についても延べ114世帯への支援を行いました。令和７年度は市内企業からの寄付の減少を機に、フードパントリーの開催方法を連続申込み不可と変更しました。

・　食料支援については、希望者が増え続ける中で今後の食料確保や食料管理が課題となっています。

・　地域住民や市内企業から寄付で集まったおむつ等の有効活用として大人用おむつ等の提供会を１回実施し、延べ36世帯へ支援を行いました。寄付の減少に伴い、開催を中止しましたが、個別支援などで補っています。

・　住居確保給付金の新規申し込みは令和６年度の３件から７件に増加し、受給決定となっています。給付金に関わらず、住居に関する相談は増加傾向です。

・　生活の困りごとの出前相談を年18回実施しました。

・　特例貸付借受人に対し、状況に応じたフォローアップを行いました。

2　生活困窮者就労準備支援事業	担　当	相談支援課

令和７年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題
生活困窮者自立支援法に基づき就労に向けた準備としての基礎能力の形成を、支援対象者個々の状況に合わせたプログラムを作成し、計画的かつ一貫して支援を実施します。 （１）　就労準備に関する支援 ①　日常生活自立に係る支援 ②　社会自立に係る支援 ③　就労自立に係る支援 ④　その他必要と認められる支援 （２）　就労準備セミナーの定期開催【新規】 （３）　就労準備支援プログラムの実施に向けた検討	様々な理由により、社会参加へのブランクのある人に対して、段階を踏んだ支援を行いました。 10 月は「ヨガ de コミュニケーション」、２月は「出張ハローワーク講座」と題した就労準備セミナーを行いました。 【成果と課題】 ひきこもりに関する相談は９件ありました。対象者は女性が４人、男性が５人で、年齢については、女性が 20 代１人、40 代２人、50 代以上が１人に対して、男性は、30 代が４人、50 代以上が１人となっています。 対象者の中には、精神疾患や障がい等の課題を抱えた人も多く、保健相談センターや障がい関連機関等と連携して相談対応を行いました。 令和７年度は対象者４人と直接会って支援を行い、社会参加のためのボランティアや地域活動への参加、就労に向けた他機関への繋ぎなど行うことが出来ました。 就労準備セミナーの実施にあたっては、初めてハローワークにご協力いただき、より就労に向けた実践的な講座を行いました。参加者は少なかったですが、就労に向けて役に立ったとの声が多かったため今後もハローワークと協力して講座など行っていきます。

3　生活困窮者家計改善支援事業	担　当	相談支援課

令和７年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題
生活困窮者自立支援法に基づき、家計に課題を抱える生活困窮者に対して、必要な情報の提供または専門的な助言、指導等を行うことにより、生活困窮者自身の家計を管理する能力を高め、早期に生活が再建されるよう支援します。 （１）　家計改善に関する支援 ①　家計管理に係る支援	生活困窮者の多くが家計管理に課題を抱えているため、初期相談の段階で把握を行い、改善に向けた助言・支援を行い、状況により弁護士への債務整理相談や、貸付への連携支援を行いました。自立相談支援のプラン作成件数 25 件のうち、21 件は家計改善支援事業を利用しました。 【成果と課題】 引き続き、柔軟な利用が可能であった新型コロナウイルス感染症の影響による減収世帯への特例貸付について、利

② 滞納の解消及び各種給付制度等の利用に向けた支援 ③ 多重債務者相談窓口等との連携による債務整理の支援 ④ 貸付のあっせんに係る支援 ⑤ その他必要と認められる支援 （2） 家計改善相談の実施 （3） 家計改善セミナーの検討	用した世帯から再度貸付の利用を希望する相談が多数ありました。根本解決のための家計改善支援を提案しても本人が望まないこともあり、改善が困難な状況も多くありました。 複合課題のひとつとして多重債務を抱えている世帯も多く、債務整理について検討し弁護士につなげ連携した支援を行いました。 物価高騰やキャッシュレス化の影響もあり、プラン作成した対象者に関わらず、家計管理に関する相談は増え続けています。 物価高騰においては年金生活者への影響が大きく、年金だけでは生活できないと就労支援を希望する方が多く見受けられました。 携帯払いやリボ払いなどキャッシュレス化が一層進み、現金のやりとりが減少した影響で債務を重ねてしまう方、また、障がいや病気の疑いがあってさらに金銭管理が困難になってしまった方も多く相談に来られました。

公益事業

Ⅳ　生活支援体制整備事業　【市受託事業】

1　生活支援体制整備事業	担当	地域福祉課

令和７年度事業計画・概要	事業実施結果・成果と課題
（１）高齢者生活支援の現状・課題の共有の機会づくり ①　第１層協議体の運営 生活支援等サービスの体制整備に向けて、多様な主体の参画を進めるため、生活支援コーディネーターと多様な活動団体等が参画する情報の共有・連携強化の場として設置する第１層協議体を運営します。 ②　生活支援コーディネーター連絡会議（ＳＣブレイク） ③　近隣市町との生活支援体制に関する情報交換	（１）高齢者生活支援の現状・課題の共有の機会づくり ①　第１層協議体の運営 第１層協議体と冠した協議等は実施しませんでした。 ②　生活支援コーディネーター連絡会議（ＳＣ会議） 第２層生活支援コーディネーターとの連絡会議を毎月開催し、情報共有に努めました。 ③　近隣市町との生活支援体制に関する情報交換 実施状況等に関して、通常業務でのやりとりのなかで情報交換を図りました。
（２）ニーズと現状の把握 ①　地域ニーズ調査の支援 コミュニティソーシャルワーカー（ＣＳＷ）や第２層生活支援コーディネーターと連携し、地域で取り組まれる地域ニーズ調査活動を支援します。 ②　活動先訪問による実態把握 地域で取り組まれるサロン活動や各種会議を訪問し、実施者や参加者からの聞き取りを行い、地域に必要なサービスや支援について検討します。 ③　ケアマネジメント型地域ケア会議でのニーズ把握 ケアマネジメント型地域ケア会議に出席し、報告される内容から地域に必要な支援や取組について検討、必要な提案を行います。	（２）ニーズと現状の把握 ①　地域ニーズ調査の支援 地域おたすけ隊やボランティアからの聞き取ったニーズを第２層生活支援コーディネーターと共有することができました。 ②　訪問による実態把握 各種会議等（以下）への出席や各種取組への訪問を通じて、地域のニーズ把握に努めました。 ・各地域おたすけ隊（５隊）会議 ・地域おたすけ隊コーディネーター会議、臨時会議（年４回） ・第２層協議体（高萩団地、こま川団地、原宿、武蔵台） ・地域ケア会議（こま川団地、原宿、武蔵台、横手台、高麗） ・こま武蔵台福祉ネット定例会議（隔月） ・傾聴ボランティア団体定例会 ・ガイドヘルプボランティア団体定例会　など ③　ケアマネジメント支援型地域ケア会議でのニーズ把握 ケアマネジメント支援型地域ケア会議（年 12 回）に出席し、在宅生活で困難を抱える人のニーズ把握

（３）担い手養成に向けた取組 地域支え合いによる生活支援体制の構築に向けて、地域住民や関係者に向けた事業周知及び協力の呼びかけを強化します。 ① 地域支え合いの取組に関する助言 ② 地域支え合いの取組の実施地域の拡大に向けた啓発 ③ 地域支え合いの意識啓発 ④ インターネット及び広報による活動の周知の強化	を行いました。 （３）担い手養成に向けた取組 地域支え合いによる生活支援体制の構築に向けて、地域住民や関係者に向けた事業周知及び協力の呼びかけをしました。 ① 地域支え合いの取組に関する助言 ・各地域おたすけ隊（６隊）会議 ・個人宅での朗読ボランティア（もくせいの会） ・介護者サロン実施に向けた助言（傾聴ボランティアうさぎ） ② 地域支え合いの取組の実施地域の拡大に向けた啓発 ・むさし野団地自治会 ・ガーデンパーク自治会自主防災組織 ・福祉委員会議 ③ 地域支え合いの意識啓発（地域福祉教育の推進） ・運転協力者認定講習会日高市開催 期　日　令和７年12月13日(土)、14日(日) 会　場　総合福祉センター 受講者　９人(うち、地域おたすけ隊４人) ・あいあいまつりでの地域おたすけ隊の周知 ・ボランティア養成講習会（傾聴とこころのサポート） ・市内のサロンや集いの場の訪問 音サロン、たかねサロン、ふれあいサロン、梅原交流サロン、シニアクッキング、横手台夏祭り、日高団地おしゃべりサロン協力会、高萩団地おしゃべりサロン、ＵＲ地域の集い、やまなみ食堂 ④ インターネット及び広報による活動の周知の強化 社協だより「ひだまり」に、地域活動を紹介する専用のコーナー（つながり便り）を開設し、活動の周知の強化を図りました。 【成果と課題】 第２層生活支援コーディネーターと連携し、参加が減少しているサロンの活性化など地域支え合いの取組の拡大を図りました。 地域の担い手の高齢化などもあり、若年層を含めた多世代へのアプローチが課題です。

令和７年度社会福祉法人日高市社会福祉協議会事業報告書　正誤表

このことについて、以下のとおり誤りがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。

なお、該当箇所の位置説明の列の位置は、

・　左列は「令和７年度事業計画・概要」欄

・　右列は「事業実施結果・成果と課題」欄です。

行数は、上記列欄内の行数（空白行を除く）となります。

該当箇所	誤	正
Ｐ，１　右列 下から１０行目	副会長、常務理事の選定について	会長、副会長、常務理事の選定について
Ｐ，３　右列 下から２行目	議案第１０号　社会福祉法人日高市社会…（以下略）	議案第１０号　令和８年度社会福祉法人日高市社会…（以下略）
Ｐ，１１　一覧 下から６行目	子ども	子育て支援
Ｐ，１４　左列 上から３行目	障がい平等教育（ＤＥＴ）	障害平等教育（ＤＥＴ）
Ｐ，１７　右列 上から１９行目	４６件	４８件
Ｐ，２４　左列 上から２２行目から２６行目まで	―	該当箇所全文削除
Ｐ，２４　右列 上から１８行目から２４行目まで	―	該当箇所全文及び表削除
Ｐ，３４　右列 上から１行目	延べ８８件（前年度比２４件）	延べ９６件（前年度比３２件）
Ｐ，３４　右列 上から２２行目	相談とし５９件の報告…（以下略）	相談として５９件の報告…（以下略）
Ｐ，３７　一覧	―	一覧の差し替え （裏面のとおり）
Ｐ，４２　右列 下から１３行目	地域おたすけ隊コーディネーター会議、臨時会議	地域おたすけ隊コーディネーター会議

P, 37　令和7年度地域包括支援センター事業実績月次報告書（高麗川）　　※変更箇所一部抜粋

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	計
包括的・継続的ケアネネジメント支援事業	ケア体制の構築	圏域型地域ケア会議開催件数	2	1	0	2	1	0	6	2	1	0	2	1	0	6	12
		個別ケース型地域ケア会議開催件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日常相談業務	ケアマネ相談件数（延件数）C	1	5	5	6	11	14	42	16	10	5	8	7	*8*	*54*	*96*
		サービス事業者相談（延件数）D	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他の連携	医療機関との連携（延件数）	40	53	47	31	56	82	309	54	38	53	52	55	55	307	616
		その他の機関との連携（延件数）	98	102	167	222	173	165	927	227	186	168	175	198	188	1,142	2,069
相談件数計（A+B+C+D）			156	208	206	271	254	260	1,355	248	243	200	256	232	204	1,383	2,738

一般介護予防教室	*日高ロコトレ教室の実施回数*	*2*	*2*	*2*	*2*	*2*	*2*	*12*	*2*	*2*	*2*	*2*	*2*	*2*	*12*	*24*
	参加者数	*54*	*56*	*55*	*54*	*45*	*47*	*311*	*44*	*39*	*50*	*50*	*49*	*46*	*278*	*589*
	はつらつ健幸教室の実施回数	2	2	2	2	2	2	12	2	2	2	2	2	2	12	24
	参加者数	52	46	47	44	39	46	274	46	56	39	49	32	33	255	529
	圏域型介護予防教室	*0*	*0*	*0*	*0*	*0*	*0*	*0*	*1*	*0*	*0*	*0*	*1*	*0*	*2*	*2*
	参加者数	*0*	*0*	*0*	*0*	*0*	*0*	*0*	*31*	*0*	*0*	*0*	*33*	*0*	*64*	*64*

【説明】
- 表中、表示の変更箇所を*斜体*で表示しています。
- 一般介護予防教室については、日高ロコトレ教室と圏域型介護予防教室参加者を分割して表示し、参加者数を改めて集計して表示したものです。